

# 防災強化へ施設フル活用

川崎市議会 山田議員

山田晴彦議員は、昨年10月の台風19号による浸水被害の教訓として、防災体制の強化を市に求めた。

山田議員は、市役所本庁舎の防災センターが機能停止した際の代替施設とし

て、川崎市多摩区にある多摩防災センターが位置付け



山田議員

## 地方議会 定例会から

られていることに言及。情報収集・伝達機能など防災設備がありながら、台風19号の際には利用されなかったことを指摘した。このことを踏まえ、多摩防災センターを本庁舎防災センターの補完施設として機能させ、本庁舎と連携しながら「台風などに伴う水害に対応する、水防センターとして活用すべきだ」と主張した。

福田紀彦市長は「多摩防災センターを最大限活用していく」と答えた。